

こどもたちに「あなたは大切」と
改めて伝えてみませんか？

参加
無料

ちがいをみつめて ちがいをみとめる

みんな、たいせつ

～「人権感覚を育てよう」プログラム～

講師養成セミナー

第1回 日時 2025(令和7)年6月12日(木) 10:00～16:00

場所 和歌山ビッグ愛 9階
和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”会議室A
(和歌山市手平2丁目1-2)

第2回 日時 2025(令和7)年6月19日(木) 10:00～16:00

場所 和歌山県情報交流センターBig・U 研修室2
(田辺市新庄町3353-9)

講師
ファシリテーター

いえもと
家本めぐみさん 一般社団法人 toddler(タドル)わかやま 代表理事

定員

各会場 30人
先着順、事前申込が必要です。

対象

幼稚園・保育所・認定こども園・児童施設等にお勤めの方や勤務経験者、
幼児の人権に関心のある方等
(現場経験や専門知識がなくても楽しく学べます。)

カリキュラム(両日共通)

- | | | |
|-------------|----|----------------------------------|
| 10:00～12:00 | 講義 | 1. 幼児の発達に応じた人権教育
2. プログラムについて |
| 12:00～13:00 | 休憩 | ※会場内への弁当等の持ち込み可。 |
| 13:00～16:00 | 演習 | 1. ファシリテーションの基礎
2. プログラムの体験 |

「みんな、たいせつ」ってどんなプログラム？

神戸大学鈴木正幸名誉教授が提唱する「絶対人権感覚」をヒントに和歌山県が独自に開発した、幼児向け人権啓発プログラムです。

鈴木教授によると、「絶対人権感覚」とは「絶対音感」のように、感性的にすり込まれる人権感覚であり、感性が著しく発達する幼児期において人権尊重の基礎である「やさしさ」や「思いやり」を身につけることは、生涯消えることのない記憶となり、人権感覚の優れたこどもを育てることができるのではと説明されています。プログラムは「ぬくもりを感じる」「心でつながる」「思いやりの気持ちを育む」「おうちの方とやってみよう!」の4つの柱からできています。

すべてのプログラムは保育所や幼稚園、家庭において短時間で簡単にできるものであり、日常の保育や生活に取り入れやすいことを意識して作られています。

こどもの自己肯定感を育て、こども自身が自分は大切な存在だと感じられること、そして、自分と同じように他者も大切だと思える心を育むことをめざしています。

講師紹介

家本めぐみ（いえもとめぐみ）さん 一般社団法人 toddle（タドル）わかやま 代表理事

NPO 法人 和歌山子どもの虐待防止協会副理事長、和歌山県子どもを虐待から守る条例審議会 審議委員などさまざまな活動をする中で、オーストラリアで開発されたトリプルP（前向き子育てプログラム）のセミナーや講演会、CAP（子どもへの暴力防止プログラム）のワークショップなどの講師ファシリテーターを県内各地で務める。

申込方法

「名前」「住所」「電話番号」「勤務先(幼稚園・保育所等にお勤めの方)」を電話、FAX、郵送又はEメールで下記の「申込先」までお知らせください。

申込先

(公財)和歌山県人権啓発センター「みんな、たいせつ」係
〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階
TEL:073-435-5420 / FAX:073-435-5421 / Eメール:minnataisetsu@w-jinken.jp

その他

- ・体を使ったワークをします。当日は、動きやすい服装でお越しください。
- ・お申し込み時にいただいた個人情報につきましては、今後、当センターが開催するセミナーや催しなどの情報をお知らせするために使わせていただく場合があります。ご了承ください。

地図

和歌山ビッグ愛 9階
和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”
(和歌山市手平2丁目1-2)



和歌山県情報交流センターBig・U
(和歌山県田辺市新庄町3353-9)

